

# 佐野市景況レポート

令和6年10～12月期



佐野商工会議所  
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1  
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517  
HP <https://www.sanocci.or.jp>  
E-mail [s-cci@sanocci.or.jp](mailto:s-cci@sanocci.or.jp)  
調査協力：佐野市あそ商工会

## 《 概 況 》

### 原料・仕入価格の高騰、人手不足より先行きの景況感は弱含み

#### 【令和6年10～12月期 実績】

全業種業況DI指数は▲16.1、前期（9月期）比+2.9ポイントと、市内事業所の業況感は前回9月の調査からやや改善し、コロナ禍以前のDI指数になりました。

利益DI指数▲27.5（前期比+1.1）、売上高DI指数▲13.3（前期比+7.6）と、利益DI指数はやや改善、売上高DI指数は改善しました。また、原材料・仕入価格DI指数は54.4（前期比+3.1）、販売価格DI指数は14.7（前期比▲4.0）と、原材料・仕入価格指数は上昇し、販売価格指数は下落して、交易条件（販売価格指数－仕入価格指数）は悪化しました。

交易条件が悪化しましたが、売上高指数が改善し、業況感は改善傾向を維持しています。

#### 【令和7年1～3月期 見通し】

3カ月先の全業種業況DI指数は▲17.0（前期比▲0.9）と、業況感のやや悪化を予想しています。売上高DI指数▲18.6（前期比▲5.8）、原材料・仕入価格指数45.2（前期比+5.1）、販売価格指数9.2（前期比▲0.6）と、前期予想に比べ、売上高指数は下落し、原材料・仕入価格指数は上昇、販売価格は横ばいと交易条件の悪化を予想しています。

#### 【事業所等の景況コメント他】

事業所等の景況コメントには、①燃料価格・原材料・仕入価格の高騰、②人材不足、人件費の上昇に関するコメントが多く寄せられました。

日銀短観12月の調査結果をみると高水準の景況感をたもっています。ただ、景況感の先行きは弱含んでいる。特に、非製造業では人手不足の深刻化等による悪化を見通しています。

#### 〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績（令和6年10～12月期）		見通し（令和7年1～3月期）	
業 況	▲16.1		▲17.0	
売 上 高	▲13.3		▲18.6	
販 売 価 格	14.7		9.2	
仕 入 価 格	54.4		45.2	
労 働 力	▲27.1		—	—

\*天気図の説明  
（数字はDI値）  
・仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

## ☆ 業況について（令和6年10～12月期実績）

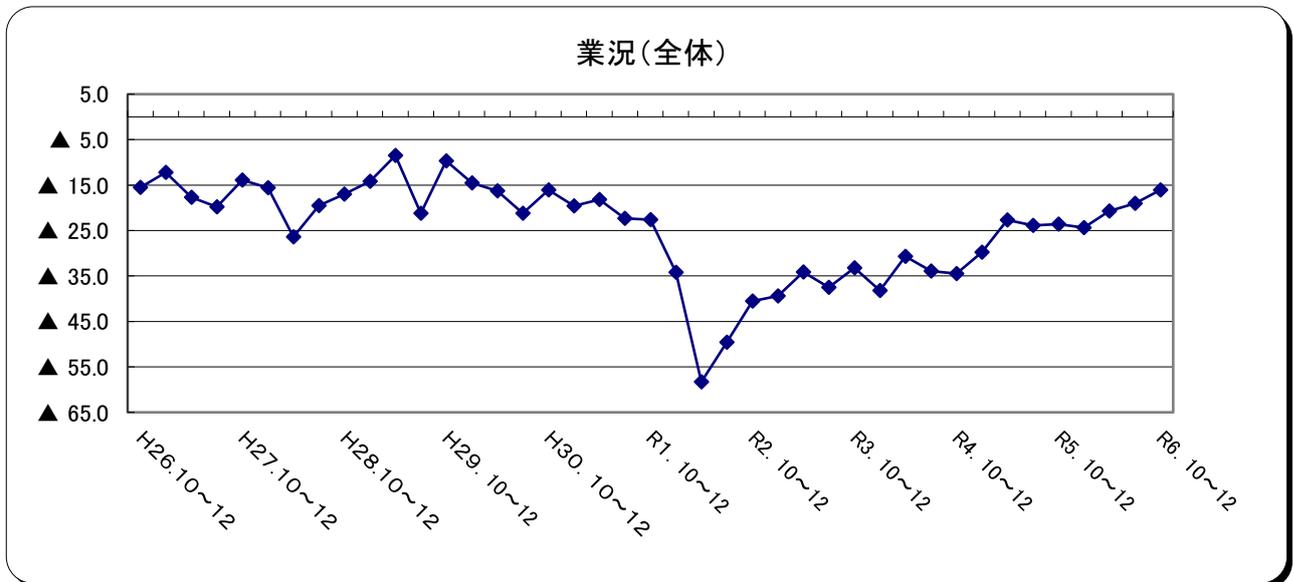


全業種DI指数▲16.1、前期比2.9ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 16.7ポイント、②建設業 4.1ポイント、③サービス業 0.0ポイント  
④食品製造業▲8.1ポイント、⑤機械・金属製造業▲13.4ポイント

良い  
↑  
悪い



## ☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和6年10～12月期実績）



全業種DI指数 54.4、前期比 3.1ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)100.0ポイント、②飲食店 82.8ポイント、③その他の製造業 75.0ポイント、④設備業 62.8ポイント、⑤繊維品製造業 60.0ポイント

上昇  
↑  
下落



## ☆ 売上高について（令和6年10～12月期実績）

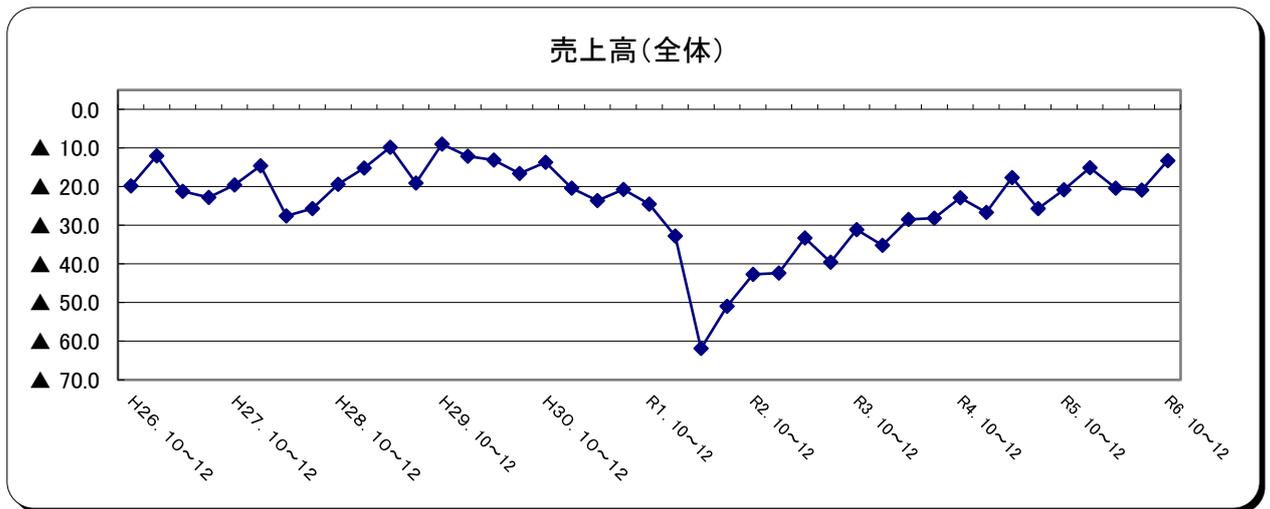


全業種DI指数▲13.3、前期比7.6ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 25.7ポイント、②サービス業 7.3ポイント、③食品製造業、化学・プラスチック製造業 0.0ポイント、④建設業▲8.6ポイント、⑤繊維品製造業▲9.1ポイント

増加  
↑  
減少  
↓



## ☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和6年10～12月期実績）



全業種DI指数 14.7、前期比▲4.0ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 42.9ポイント、②飲食店 35.3ポイント、③食品製造業 33.3ポイント、④卸売業 20.0ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 15.8ポイント

上昇  
↑  
下落  
↓



## ☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和6年10～12月期実績）

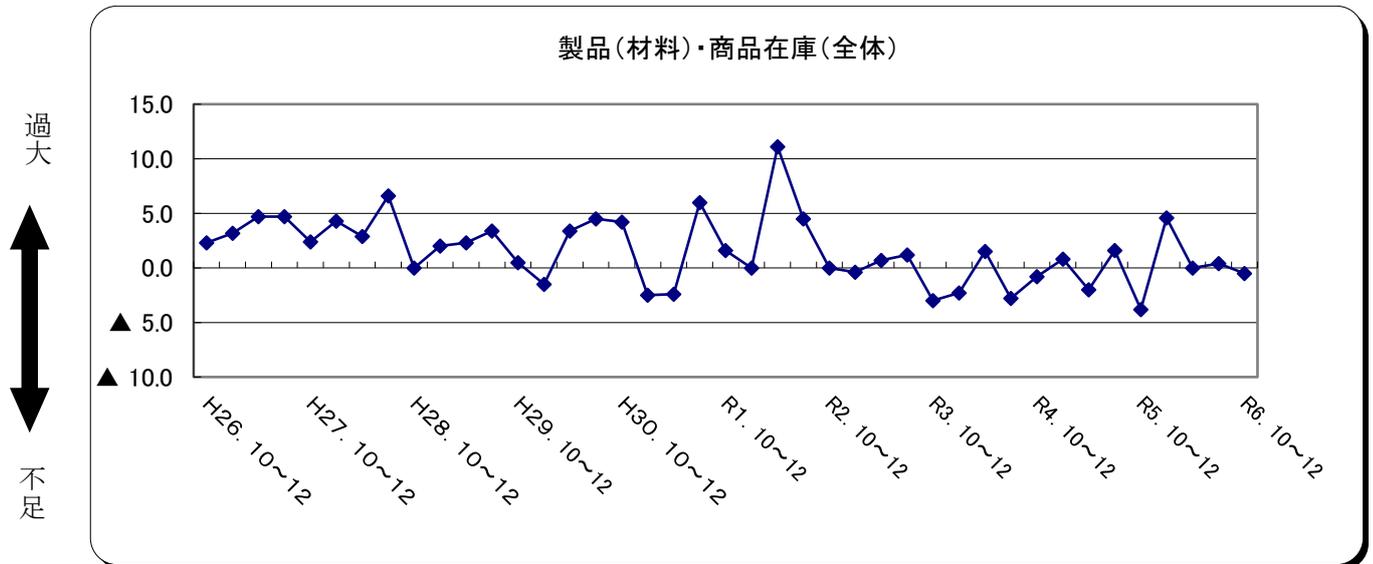
天気図



全業種DI指数▲0.5、前期比▲0.9ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業（飲・食料品）13.0ポイント、②飲食店 12.3ポイント、③建設業 4.0ポイント、
- ④化学・プラスチック製造業 3.9ポイント、⑤機械・金属製造業、サービス業 0.0ポイント



## ☆ 利益状況について（令和6年10～12月期実績）

天気図



全業種DI指数▲27.5、前期比 1.1ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 0.0ポイント、②サービス業▲7.5ポイント、③食品製造業▲8.6ポイント、
- ④設備業▲20.0ポイント、⑤建設業▲22.4ポイント



## ☆ 資金繰りについて（令和6年10～12月期実績）

天気図



全業種DI指数▲14.0、前期比▲1.7ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業 6.1ポイント、②建設業、その他の製造業 0.0ポイント、③機械・金属製造業 ▲4.1ポイント、④設備業▲6.1ポイント、⑤サービス業▲11.1ポイント

楽  
↑  
↓  
苦しい



## ☆ 労働力について（令和6年10～12月期実績）

天気図



全業種DI指数▲27.1、前期比▲0.3ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①繊維品製造業 0.0ポイント、②その他の小売業(大型店含む)▲7.3ポイント、③小売業(飲・食料品)▲13.0ポイント、④飲食店▲16.7ポイント、⑤サービス業▲22.0ポイント

過剰  
↑  
↓  
不足

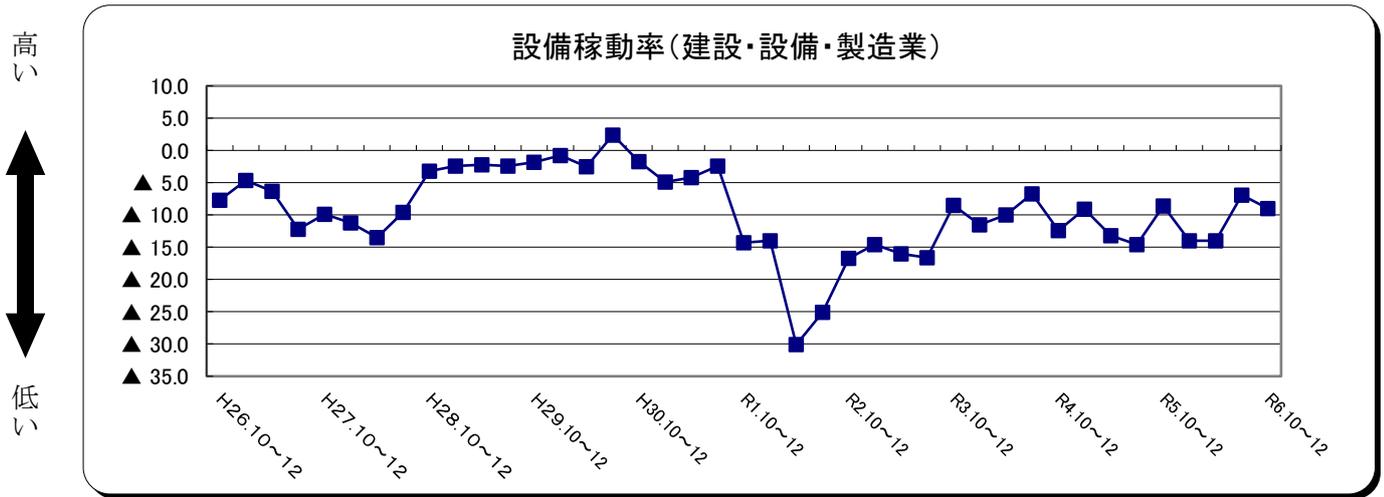


☆ 設備稼働率について (令和6年10~12月期実績)  
(建設・設備・製造業関係)



全業種DI指数▲9.0、前期比▲2.1ポイント低下  
業種別DI指数(上位5業種)

- ①食品製造業、その他の製造業 0.0ポイント、②建設業▲8.3ポイント、③設備業▲12.5ポイント、④機械・金属製造業▲21.7ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲28.0ポイント

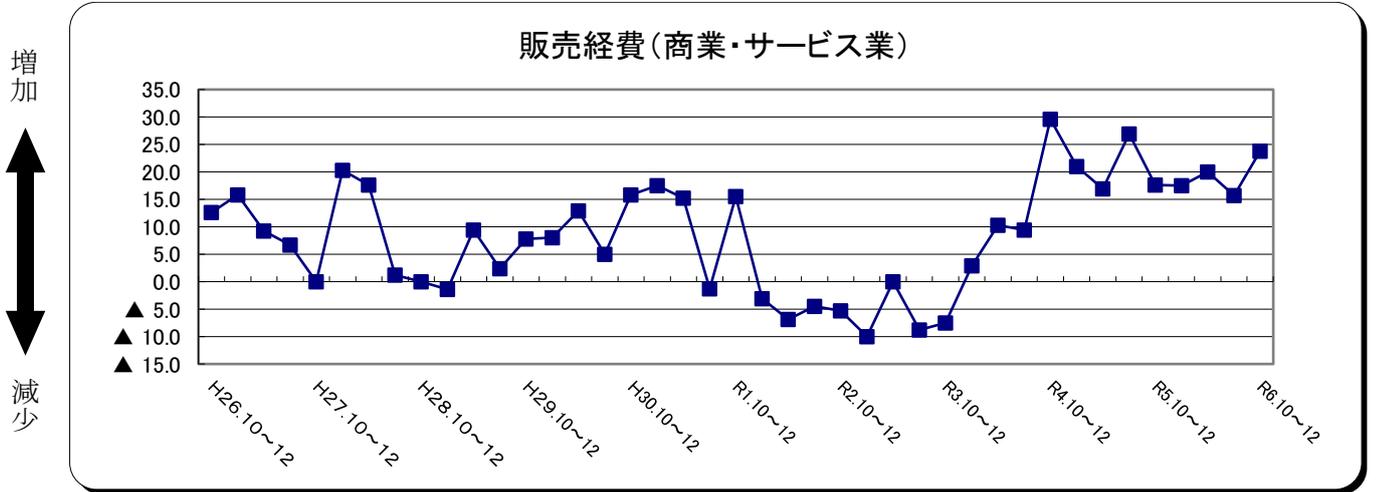


☆ 販売経費について (令和6年10~12月期実績)  
(商業・サービス業関係)



全業種DI指数23.8、前期比8.1ポイント上昇  
業種別DI指数(上位5業種)

- ①小売業(飲・食料品)60.0ポイント、②飲食店44.3ポイント、③卸売業33.3ポイント、④その他の小売業(大型店含む)7.0ポイント、⑤サービス業3.6ポイント



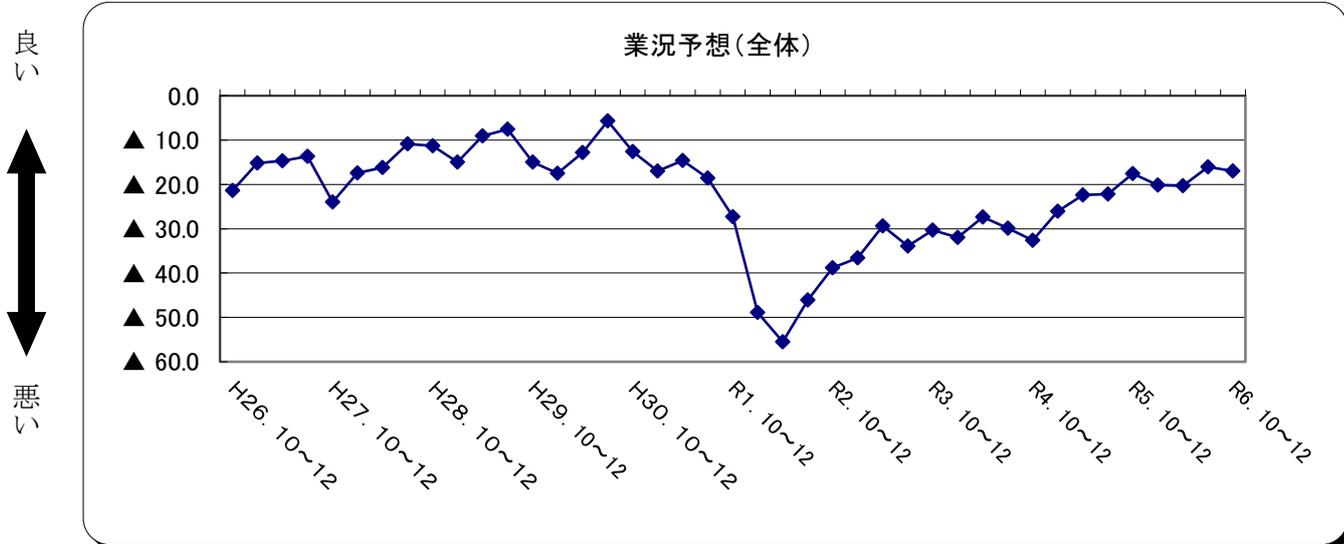
☆ 今後3ヶ月先（令和7年1~3月期の見通し）の業況について



全業種DI指数▲17.0、前期比▲0.9ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業15.8ポイント、②食品製造業8.6ポイント、③建設業4.1ポイント、
- ④サービス業0.0ポイント、⑤機械・金属製造業▲4.3ポイント



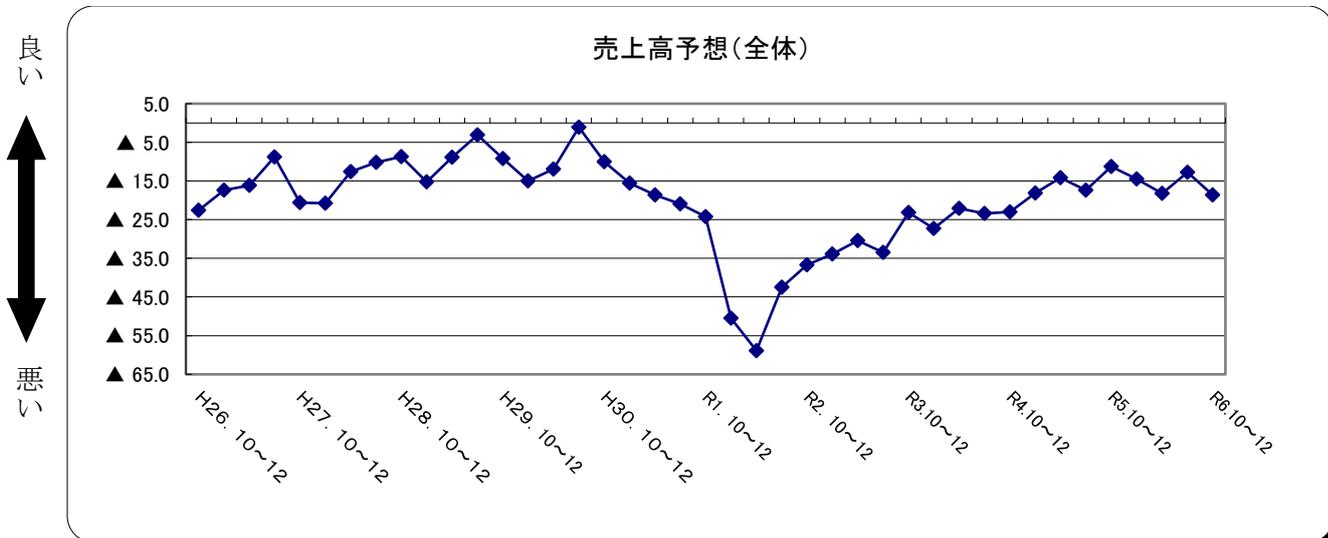
☆ 今後3ヶ月先（令和7年1~3月期の見通し）の売上高について



全業種DI指数▲18.6、前期比▲5.8ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①食品製造業8.6ポイント、②サービス業7.5ポイント、③建設業▲4.2ポイント、④
- ⑤小売業(飲・食料品)▲14.3ポイント



☆ 今後3ヶ月先（令和7年1～3月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について



全業種DI指数 45.2、前期比 5.1ポイント上昇  
業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店 93.1ポイント、②小売業(飲・食料品)78.9ポイント、③設備業 71.4ポイント、④卸売業 57.1ポイント、⑤食品製造業、その他の製造業 52.9ポイント

上昇  
↓  
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和7年1～3月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について



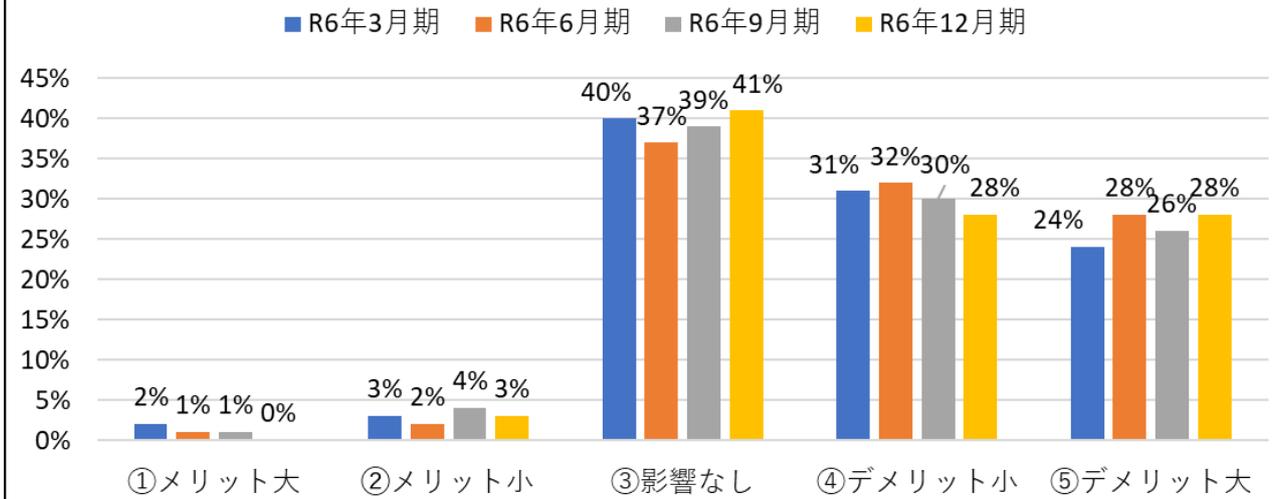
全業種DI指数 9.2、前期比▲0.6ポイント低下  
業種別DI指数（上位5業種）

- ①食品製造業 33.3ポイント、②卸売業 19.1ポイント、③その他の製造業 15.8ポイント、④飲食店 12.7ポイント、⑤建設業 12.3ポイント

上昇  
↓  
下落

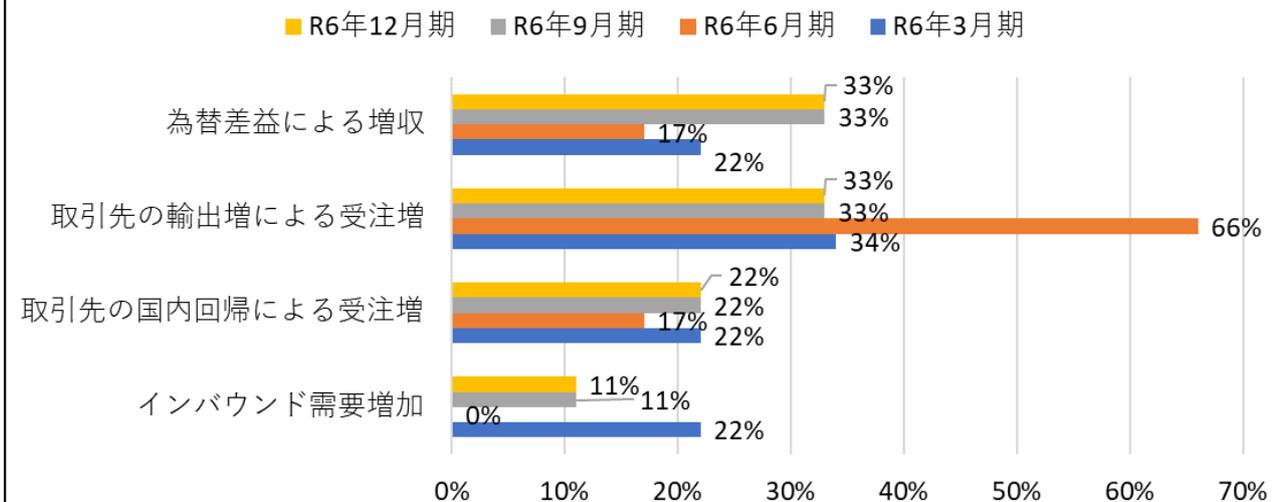


## 円安の影響



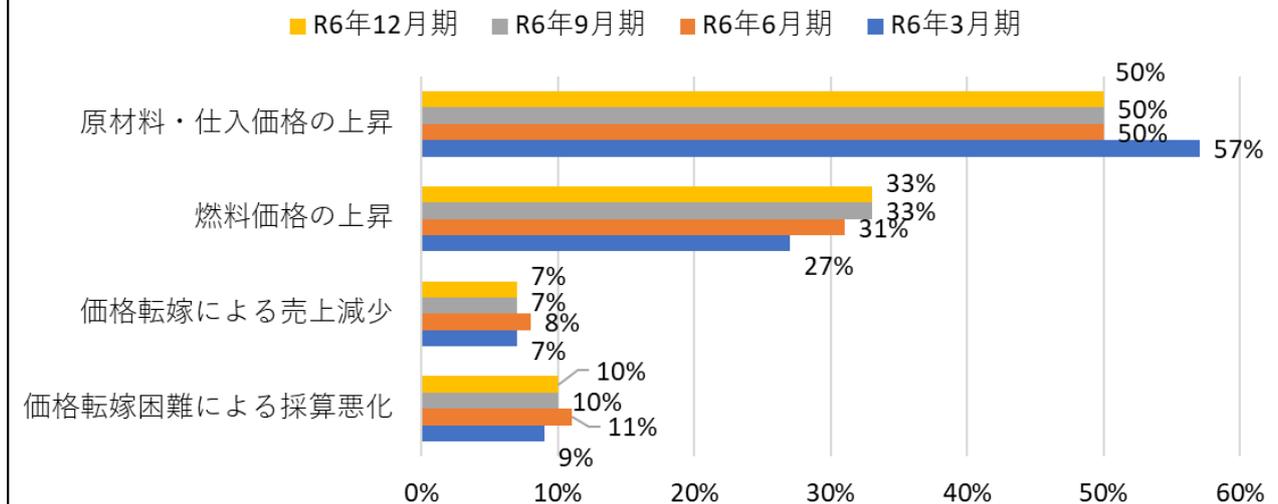
## 円安のメリット①② (大・小)

(複数回答有)



## 円安デメリット④⑤ (小・大)

(複数回答有)



## ☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

### 建設業

- ・今年の秋から集客が減少。
- ・同業他社は、なかなか値上げをしないので、当社だけ値上げする事は難しい。
- ・年度末に期待したいです。このところ、いろいろな物の高騰があり安定していないので悪影響しているとおもいます。

### 設備工事業

- ・良くなってほしい。
- ・原材料、仕入価格の上昇も落ち着き穏やかに持ち直しているが、今後労使ともに高めの賃上げが必要と思われる。
- ・ガス・石油・電気給湯器 管財及び副資材等の価格改定(上昇)が年明けから予定されている。(3%~15%)

### 繊維品製造業

- ・今月、来月の燃料価格の上昇がかなり厳しい現状。
- ・価格転嫁時期の遅れ(時差)のカブリが大きく、来年度は苦しいと思います。
- ・売上は昨年同時期と比較し半減です。考えられる要因としては、原材料価値高騰における買い控えです。

### 食品製造業

- ・1月は佐野厄除大師や観光客がたくさん佐野に来るので期待したいですね。目の前の仕事をしっかりとこなす事が、今は大切なのかなと感じます。
- ・円安が続いているので、利益を出しづらくなっている。

### 機械・金属製品製造業

- ・2025年は今年より悪くなりそうです。
- ・零細企業にとって車業界が悪いのは一番大変な事です。
- ・日産自動車の今後が気になります。当社は自動車産業に対する売上が多いのです。
- ・引き合いの案件数はかなり多くなっている。
- ・景況感悪化してきている。

### 化学・プラスチック製品製造業

- ・プラスチック市場は、需要低迷、過剰在庫が続いている。
- ・仕入材料の単価が上り一時間単価に対不良発生する利益減少。注文数が少なく、月によって注文の変動が大きい。
- ・設備投資意欲はあり、見積多いが実際の受注につながらない。客先の新規化と増大により新取引になりにくい。
- ・物品を作っているのですが、品物の価値を上げたら売れません(加工単価は変わらず)今、生産調整中です こまりました。パートの103万の問題もうちは関係なさそうです。
- ・一部エンジニアリングプラスチックの原料の製造に使用する物質が中国産にて輸入価格が上昇、来月当りより値上げの動きあり。
- ・出荷数量が減少し稼働率が下がっている。

## その他製造業

- ・季節的要因とインバウンドの好影響により好況感はある。資材等は上昇し続けている、価格転嫁は困難だ。
- ・変わらず円安が行きすぎていると思います。早期の是正を望みます。

## 卸売業

- ・仕入れや燃料費の高騰が続いているので負担が大きくなり不安。しかし輸出が好調なので新たな市場の開拓や取引量を増していきたい。
- ・海外の仕入れがほとんどの為 円安では厳しい状況が続いております。
- ・来年も建築業は悪そうです。
- ・価格転嫁がキーとなります。
- ・賃上げ、人手不足はかなり深刻。今後も利益圧迫。企業誘致は良いが地場の大幅な賃上げや人材の取合いが起これると思われる。地場で頑張っている会社がかかなり厳しくなるのでは？企業誘致の条件を雇用から他に目を向けるべきだと思う。
- ・良いところあったら教えて下さい。

## 小売業（飲・食料品）

- ・オリジナル製造部門が予想より伸びない。
- ・11月の売上がかなり減少でした。1月に値上げしますが、人足が心配です。

## その他の小売業（大型店含む）

- ・年々悪くなっていく。
- ・節約情今になってしまっている。安くて代用出来る物で皆、頑張っていますね。
- ・12月に入りやや客数増加。
- ・ここ半年、特に客数が減少しております。

## 飲食店

- ・労働時間短縮、円安はだめ。
- ・長く続く人手不足で営業日数、時間とも減少していて売上も減少。
- ・物価の安定、経済状況が落ちついてほしいです。
- ・コロナ前と比べて、お客様の内容が変化した感じがある。客単価自体は上昇傾向にある。
- ・材料の仕入価格の上昇、光熱費燃料の上昇、人件費上昇の為くるしい。
- ・新店舗 12月下旬 OPEN になりました。引き続きよろしくお願い致します。
- ・働き方改革の悪影響、円安だめ。
- ・11月は毎年減少しますが、特に今年は悪いです。
- ・全体的に景気が下むいて来ている気がする。
- ・いつもありがとうございます。
- ・秋山川の河川拡張工事のため、10月をもって閉店させていただくこととなりました。今までありがとうございました。
- ・今年の忘年会は、コロナ以前に近いくらい予約が入っており、大変ありがたいです。
- ・物価高騰のため、宴会メニューを改定させていただくこととなりました。一般のメニューも同様に。
- ・佐野にほとんどない朝から営業しているラーメン店です。少しずつではありますが、認知度も向上しつつあり、これからも頑張っていきたいと思います。
- ・高価格(1人1万~2万円)の飲食店も、お客様に利用いただく機会も多くなったように感じます。
- ・価格改定への消費者の意識の変化もあり、お客様からクレームなど少なくなった様に感じます。

## サービス業

- ・インフレの影響を感じます。
- ・うち食が多くなり外食する方減少。

- ・最低賃金が上がるのは喜ばしいこと。その状況を共有し前向きに事業を行うのは難しい。
- ・景気の影響はないです。

## 佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和6年10月～12月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、171社（回答率58.9%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

### (1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

### (2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

### (3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

### 3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

$$D I \text{ 方式は、 } \frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100 \text{ により算出}$$

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所